

学生正会員・若手正会員ポスター発表 第2日目 9月4日(日)

	PA会場(52番教室)	PB会場(61番教室)
12:30~ 14:30 (コアタイム)	PA01石川県と島根県におけるモリチャバネゴキブリ <i>Blattella nipponica</i> の発生活長および休眠性の比較 ○松本 敏輝 <sup>1</sup> ・嶋田 敬介 <sup>2</sup> ・泉 洋平 <sup>3</sup> (鳥取大学院 <sup>1</sup> ・石川県立自然史資料館 <sup>2</sup> ・島根大学 <sup>3</sup> )	PB01日本産貝食性オサムシにおける捕食戦略について 榎本 尊 (北海道大学)
	PA02トゲナナフシにおける産卵日と卵休眠終了時期の関係 ○中野 晏志 <sup>1</sup> ・松本 晋平 <sup>2</sup> ・中村 圭司 <sup>1,2</sup> (岡山理科大学 <sup>1</sup> ・岡山理科大 <sup>2</sup> )	PB02地下浅層に生息するチビゴミムシのオプシン遺伝子と走光性 ○丹伊田 拓磨 <sup>1</sup> ・越川 滋行 <sup>1,2</sup> (北大院環境科学 <sup>1</sup> ・北大院地球環境 <sup>2</sup> )
	PA03日本産ホシアメバチ属(ハチ目:ヒメバチ科:アメバチ亜科)の系統分類学と種多様性 ○清水 壮 <sup>1,2</sup> ・前藤 薫 <sup>2</sup> (農業・食品産業技術総合研究機構 <sup>1</sup> ・神戸大学大学院 <sup>2</sup> )	PB03夜間に飛翔する大量の地表徘徊性甲虫類:九州北部で実施したサーチライトトラップによる捕獲調査 ○宗 祥史 <sup>1</sup> ・林 大祐 <sup>1</sup> ・奥園 元晴 <sup>1</sup> ・吉田 一貴 <sup>1,2</sup> ・渋谷 園実 <sup>3</sup> ・徳田 誠 <sup>1,2</sup> (佐賀大 <sup>1</sup> ・農 <sup>1</sup> ・鹿児島大院 <sup>2</sup> ・連合農学 <sup>2</sup> ・東大院 <sup>3</sup> ・農 <sup>3</sup> )
	PA04ハスモンヨトウ幼虫の齢期の違いがゲンケハラボソコムバチの寄生成功に及ぼす効果 ○神山 伊織・前藤 薫 (神戸大)	PB04ハネカクシ科 <i>Anotylus</i> 属2種の行動および形態的特徴 ○奥園 元晴・徳田 誠 (佐賀大学システム生態学研究室)
	PA05キジラミの虫こぶを利用するハダニの特異的な生態および形態的特徴 ○岩佐 廉・伊藤 桂 (高知大学)	PB05与那国島固有種ナカジマツブゲンゴロウの発育と温度の関係 ○内山 龍人 <sup>1</sup> ・渡部 晃平 <sup>2</sup> ・谷野 彩奈 <sup>1</sup> ・佐藤 幸恵 <sup>1</sup> (筑波大学 進化生態学・行動進化学研究室 <sup>1</sup> ・石川県ふれあい昆虫館 <sup>2</sup> )
	PA06Acquisition of novel muscles of female penis in sex-role reversed cave insects ○程 子昕・吉澤 和徳 (北海道大学)	PB06ニホンホホビロコメツキモドキ—酵母栽培共生系における寄主植物の特異性に影響する要因 岡島 大洋 (名古屋大)
	PA07咀嚼目の胸部筋肉の形態と系統学的意義 ○河田 雷・吉澤 和徳 (北海道大学/昆虫体系学研究室)	PB07シダ植物を食すタマムシの生活史:エグリタマムシ属は潜葉虫か? ○瑤寺 裕 <sup>1</sup> ・山田 航 <sup>2</sup> (北海道大学大学院・農学院・昆虫体系学研究室 <sup>1</sup> ・神奈川県厚木市 <sup>2</sup> )
	PA08鱗翅目雄交尾器の非破壊的形態観察の実践~日本産ニセキンホソガ属を題材に~ 澤田 昌恭 (北海道大学農学部昆虫体系学教室)	PB08寄主植物であるアザミへの局所適応はヤマトアザミテントウ集団間にどれほどの隔離障壁を生じさせているのか—網室実験による検証— ○中曾根 大輝 <sup>1</sup> ・中田 要 <sup>2</sup> ・藤山 直之 <sup>2</sup> (山形大 <sup>1</sup> ・院・理工 <sup>1</sup> ・山形大 <sup>2</sup> ・理 <sup>2</sup> )
	PA09オスの色彩変異が種の分布面積に与える影響:日本産フシヤク類の種間比較 ○増田 有沙 <sup>1</sup> ・鈴木 紀之 <sup>2</sup> (高知大学大学院 <sup>1</sup> ・高知大学 <sup>2</sup> )	PB09イタドリ上で揺籃を作成するカシリオトシブミと花外蜜腺に誘引されるアリの相互作用 ○古田 理奈・井上 亮太・梶村 恒 (名古屋大)
	PA10鱗翅目スズメガ科幼虫の色パターン・形のカモフラージュ効果 ○萩原 絢子・小山 哲史 (東京農工大/動物行動学研究室)	PB10同一宿主に寄生したナガカメネジレバネの個体間に見出された極端な成長差 ○菅藤 隼人・中瀬 悠太・市野 隆雄 (信州大)
	PA11カワラケツメイの栽培地と自生地におけるツマグロキチヨウの個体数推定 ○岡田 遼太郎・鈴木 紀之 (高知大学・生物多様性管理学研究室)	PB11メイズムシ <i>Ochterus marginatus</i> の生活史について ○浴井 遥 <sup>1</sup> ・泉 洋平 <sup>2</sup> (島根大学大学院 <sup>1</sup> ・島根大学 <sup>2</sup> )